

# 第 36 回薬剤耐性菌研究会

会 期：平成19年11月16日（金）12：45～

平成18年11月17日（土）12：20

会 場：伊香保温泉 森秋旅館 会議室

〒377-0102 群馬県渋川市伊香保町伊香保 60

TEL: 0279-72-2601 FAX: 0279-72-5555

<http://www.moriaki-ikaho.co.jp/access/frame.html>

代表世話人：荒川 宜親（国立感染症研究所細菌第二部）

事務局：池 康嘉（群馬大学大学院細菌感染制御学）

研究会事務局 連絡先：群馬大学大学院細菌感染制御学(岩崎)

TEL: 027-220-7992 FAX: 027-220-7996

e-mail: [iwa-ryo@med.gunma-u.ac.jp](mailto:iwa-ryo@med.gunma-u.ac.jp)

# 第 36 回薬剤耐性菌研究会

## 会場案内図（伊香保温泉 森秋旅館）



- ・ J R 渋川駅より伊香保温泉行バス 20 分 伊香保バスターミナル下車 徒歩 5 分  
 (渋川駅からの伊香保温泉行きバスは電車の到着と連結していますので便利です)

バス時刻表	渋川駅発	伊香保バスターミナル着
	11 : 31	→ 11 : 56
	11 : 47	→ 12 : 06
	11 : 52	→ 12 : 08 (急行)
	12 : 17	→ 12 : 42

(詳しくは <http://www.kan-etsu.net/r-bus/timetable/shibu-ikaho-1.htm> )

- ・ 車で来られる際には、森秋旅館に直接お越し下さい。

## ご 案 内

### ●研究会ご参加の皆様へ

#### 1. 参加受付

受付は11月16日（金）12：00より森秋旅館にて行います。

#### 2. 口演発表

- ・演題の口演時間は12分、討論3分です。
- ・発表はMicrosoft Power Point お願いします。
- ・特に枚数の制限はありませんが、必ず制限時間内に終了するよう作成してください。
- ・プレゼンテーションで利用できる機材は液晶プロジェクターのみですので、発表者  
はご自分のコンピュータ（PC）をご持参下さい。液晶プロジェクターの入力端子は  
Dsub-15ピンのみです。ご使用になられるコンピュータのモニター出力をご確認下  
さい。必要な場合は各自アダプターをご持参下さい。コンピュータを持参できない  
場合は事務局へご連絡下さい。

## 第 36 回薬剤耐性菌研究会プログラム (発表 12 分、討論 3 分)

平成 19 年 11 月 16 日 (金)

(12:45~18:00)

12:45~14:00

疫学 1 座長 土井 洋平 (ピッツバーグ大学医学部感染症内科)

### 1. 日本国内で分離されたバンコマイシン耐性腸球菌 (*E. faecalis*) についての解析

○谷本弘一<sup>1</sup>, 野村隆浩<sup>2</sup>, 藤本修平<sup>2</sup>, 池 康嘉<sup>1,2</sup>

(<sup>1</sup>群馬大学大学院医学系研究科附属薬剤耐性菌実験施設, <sup>2</sup>同細菌感染制御)

### 2. 日本の臨床現場で分離された大腸菌のプラスミド性フルオロキノロン耐性遺伝子 (*qepA*, *qnr*) の保有状況

○山根一和, 和知野純一, 鈴木里和, 木村幸司, 柴田尚宏, 荒川宜親

(国立感染症研究所細菌第二部)

### 3. VRE 検出状況と地域内での病院間伝播対策の取り組み

○犬塚和久<sup>1</sup>, 郡美夫<sup>2</sup>, 長沢光章<sup>3</sup>, 佐藤智明<sup>4</sup>, 小崎繁昭<sup>5</sup>, 荒川宜親<sup>6</sup>, 鈴木里和<sup>6</sup>, 兵道美由紀<sup>7</sup>

(<sup>1,7</sup>安城更生病院, <sup>2</sup>千葉市立海浜病院, <sup>3</sup>東北大学病院, <sup>4</sup>静岡県立がんセンター, <sup>5</sup>日本臨床衛生検査技師会, <sup>6</sup>国立感染症研究所細菌第二部, <sup>1-5</sup>社団法人日本臨床衛生検査技師会薬剤耐性菌調査部会)

座長 切替 照雄 (国立国際医療センター)

### 4. ピッツバーグ大学医療センターにおける多剤耐性 *Acinetobacter baumannii* の動向

Jennifer M. Adams, ○Yohei Doi, Brian Potoski, David L. Paterson

(Division of Infectious Diseases, University of Pittsburgh Medical Center)

### 5. 各種薬剤耐性菌感染症を振り返って

○稲松孝思, 安達桂子

(東京都老人医療センター 研究検査科)

~~~~~ コーヒーブレイク 14:00~14:10 ~~~~~

14:10~15:10

耐性機構 1 座長 米沢 実 (明治製菓(株) 医薬総合研究所)

### 6. メタロ-β-ラクタマーゼ産生緑膿菌の高度耐性化機構

○米沢 実<sup>1</sup>, 後藤直正<sup>2</sup>

(<sup>1</sup>明治製菓(株) 医薬総合研究所, <sup>2</sup>京都薬科大学 微生物学教室)

### 7. 緑膿菌のカルバペネム耐性コロニー出現頻度

○奥野 陽亮, 山城 秀仁, 藤村 享滋, 三和 秀明, 山野 佳則  
(塩野義製薬株式会社 創薬研究所)

8. *Mycoplasma pneumoniae* に対する Garenoxacin の抗菌活性と標的酵素におけるその阻害効果

果

○中谷 雅年<sup>1</sup>, 山崎 勉<sup>2</sup>, 高畑 正裕<sup>1</sup>, 福田 淑子<sup>1</sup>, 佐々木次雄<sup>3</sup>, 満山 順一<sup>1</sup>  
(<sup>1</sup>富山化学工業株式会社 総合研究所, <sup>2</sup>埼玉医科大学 小児科, <sup>3</sup>国立感染症研究所 細菌第二部)

9. アミノグリコシド耐性菌が産生する 16S rRNA メチル基転移酵素(RmtB)の X 線結晶構造機能解析

○山口佳宏<sup>1</sup>, 松永和代<sup>2</sup>, 湯本陽香<sup>2</sup>, 和知野純一<sup>3</sup>, 藤間祥子<sup>4</sup>, 山縣ゆり子<sup>2</sup>, 荒川宜親<sup>3</sup>, 黒崎博雅<sup>2</sup>  
(<sup>1</sup>熊本大学環境安全センター, <sup>2</sup>熊本大学大学院医学薬学研究部, <sup>3</sup>国立感染症研究所細菌第二部, <sup>4</sup>東京大学大学院薬学研究科)

~~~~~ コーヒーブレイク 15:10~15:20 ~~~~~

15:20~16:35

結核菌, 症例 座長 松本 智成 (大阪府立呼吸器・アレルギー医療センター)

10. 当院受診歴のある extensively Drug Resistant Tuberculosis (XDR-TB: 高度多剤耐性結核)の状況

○松本智成, 阿野裕美  
(大阪府立呼吸器・アレルギー医療センター)

11. 多剤耐性結核菌の感染性と INH 耐性遺伝子変異 (*katG* S315T) の関連性の検討

○阿野裕美, 松本智成, 高嶋哲也  
(大阪府立呼吸器・アレルギー医療センター)

12. 臨床検体を用いた結核菌遺伝子増幅検査コバス Taq Man MTB の有用性について検討

○吉多 仁子<sup>1</sup>, 所知都子<sup>1</sup>, 北橋 由紀子<sup>1</sup>, 河原 邦光<sup>1</sup>, 阿野 裕美<sup>2</sup>, 高嶋 哲也<sup>3</sup>  
(<sup>1</sup>大阪府立呼吸器・アレルギー医療センター臨床検査科, <sup>2</sup>同 臨床研究部, <sup>3</sup>同 内科)

座長 谷本 弘一 (群馬大学大学院 薬剤耐性菌実験施設)

13. 高齢者医療施設に見られた *Clostridium perfringens* による腸炎集団発生事例の解析

○和田昭仁<sup>1</sup>, 柴崎澄枝<sup>2</sup>, 安中めぐみ<sup>2</sup>, 樋口浩<sup>2</sup>, 安達桂子<sup>2</sup>, 森 伸晃<sup>3</sup>, 石川 貴敏<sup>3</sup>, 増田 義重<sup>3</sup>, 稲松 孝思<sup>3</sup>  
(<sup>1</sup>感染研細菌第一部, <sup>2</sup>東京都老人医療センター研究検査科, <sup>3</sup>同感染症科)

14. 複数菌種の ESBL 産生菌が検出された1症例についての検討

○本間 操<sup>1,2</sup>, 柴田尚宏<sup>2</sup>, 荒川宜親<sup>2</sup>

(<sup>1</sup>東京都立駒込病院 臨床検査科, <sup>2</sup>国立感染症研究所 細菌第二部)

~~~~~ コーヒーブレイク 16:35~ ~~~~~

招聘講演 (17:00~18:00)

座長 森兼 啓太 (国立感染症研究所)

抗菌薬耐性:その原因、傾向、意義 (Antimicrobial resistance: source, trends, implications)

Teresa C. Horan

(Division of Healthcare Quality Promotion Centers for Disease Control and Prevention USA)

~~~~~

2日目

平成19年11月17日(土)

(9:00~12:20)

9:00~10:00

疫学2

座長 長沢 光章 (東北大学病院 診療技術部)

15. 全国調査からみた *P. aeruginosa* の薬剤耐性率の年次推移および MDRP の検出状況について

○佐藤智明<sup>1</sup>, 郡 美夫<sup>2</sup>, 長沢光章<sup>3</sup>, 犬塚和久<sup>4</sup>, 小崎繁昭<sup>5</sup>, 荒川宜親<sup>6</sup>

(<sup>1</sup>静岡県立がんセンター, <sup>2</sup>千葉市立海浜病院, <sup>3</sup>東北大学病院, <sup>4</sup>安城更生病院, <sup>5</sup>日本臨床衛生検査技師会, <sup>6</sup>国立感染症研究所, <sup>1-5</sup>社団法人日本臨床衛生検査技師会 薬剤耐性菌調査部会)

16. 全国の医療施設で分離される多剤耐性緑膿菌の特徴について

○切替照雄<sup>1</sup>, 関口純一郎<sup>1</sup>, 水口雪絵<sup>1</sup>, 北尾公英<sup>1</sup>, 島田佳世<sup>1</sup>, 荒川宜親<sup>2</sup>

(<sup>1</sup>国立国際医療センター, <sup>2</sup>国立感染症研究所)

17. 市中における腸管定着性 ESBL 産生菌の現状

○諏訪直生<sup>1</sup>, 外山雅美<sup>1</sup>, 長野則之<sup>1,2</sup>, 長野由紀子<sup>2</sup>, 荒川宜親<sup>2</sup>

(<sup>1</sup>船橋市立医療センター 検査科, <sup>2</sup>国立感染症研究所 細菌第二部)

18. 京都府における VRE の現状と対策

○飯沼由嗣

(京都大学医学部附属病院 検査部・感染制御部)

~~~~~ コーヒーブレイク 10:00~10:10 ~~~~~

10:10~11:10

耐性機構2

座長 長野 則之 (船橋市立医療センター 検査科)

19. 黄色ブドウ球菌の全多剤排出ポンプの解析と主要ポンプの遺伝子破壊

○日高功一朗<sup>1</sup>、山田陽一<sup>1</sup>、宅野正浩<sup>1</sup>、塩田澄子<sup>2</sup>、黒田照夫<sup>3</sup>、土屋友房<sup>1</sup>

(<sup>1</sup>岡山大院・医歯薬・分子微生物, <sup>2</sup>就実大・薬・病原微, <sup>3</sup>岡山大院・医歯薬・ゲノム応用微生物)

20. 抗 MRSA 薬 4 剤に対する MRSA の in vitro 耐性獲得の比較検討

○小川美保<sup>1</sup>、市村禎宏<sup>1</sup>、霜島正浩<sup>1</sup>、松本佳巳<sup>2</sup>

(<sup>1</sup>株式会社ビー・エム・エル総合研究所, <sup>2</sup>大阪大学産業科学研究所)

21. ペニシリン非感受性 B 群レンサ球菌における PBP<sub>s</sub> の変異の多様性

○長野則之<sup>1,2</sup>、長野由紀子<sup>2</sup>、木村幸司<sup>2</sup>、玉井清子<sup>3</sup>、柳沢英二<sup>3</sup>、荒川宜親<sup>2</sup>

(<sup>1</sup>船橋市立医療センター 検査科, <sup>2</sup>国立感染症研究所 細菌第二部, <sup>3</sup>株式会社ミロクメディア  
カルラボラトリー)

22. ガリウム (Ga) の抗菌及び抗バイオフィルム作用についての検討

○金子幸弘<sup>1,2</sup>、柳原克紀<sup>3</sup>、宮崎義継<sup>1</sup>、河野 茂<sup>3</sup>、Pradeep K. Singh<sup>2</sup>

(<sup>1</sup>国立感染症研究所生物活性物質部, <sup>2</sup>ワシントン大学微生物教室, <sup>3</sup>長崎大学第二内科)

~~~~~ コーヒーブレイク 11:10~11:20 ~~~~~

11:20~12:20

検査, 消毒薬耐性

座長 山根 一和 (国立感染症研究所 細菌第二部)

23. Kirby-Bauer Disks によるペニシリン低感受性 B 群連鎖球菌検出法の開発及び  
PCR 法によるペニシリン低感受性 B 群連鎖球菌検出法の開発

○木村幸司, 和知野純一, 黒川博史, 鈴木里和, 山根一和, 柴田尚宏, 荒川宜親

(国立感染症研究所細菌第二部)

24. ボーダーライン MRSA の検出および解析

犬塚和久<sup>1</sup>、○山田景子<sup>2</sup>、巽 則雄<sup>1</sup>、大藏照子<sup>2,3</sup>、太田美智男<sup>2</sup>

(<sup>1</sup>安城更生病院, <sup>2</sup>名古屋大学大学院医学系研究科分子病原細菌学, <sup>3</sup>名古屋大学医学部  
附属病院検査部)

25. MRSA を対象とした消毒薬耐性遺伝子の保有調査

○吉田 理紗<sup>1</sup>、川村久美子<sup>2</sup>、伊藤秀郎<sup>2</sup>、谷本弘一<sup>3</sup>、池康嘉<sup>4</sup>、荒川宜親<sup>5</sup>

(<sup>1</sup>名古屋大学大学院医学系研究科, <sup>2</sup>名古屋大学医学部保健学科, <sup>3</sup>群馬大学大学院医学  
系研究科附属薬剤耐性菌実験施設, <sup>4</sup>群馬大学大学院医学系研究科細菌感染制御学, <sup>5</sup>国  
立感染症研究所細菌第二部)

26. 臨床分離 *Acinetobacter* 属の消毒薬感受性調査

○川村久美子<sup>1</sup>, 和知野純一<sup>2</sup>, 伊藤秀郎<sup>1</sup>, 荒川宜親<sup>2</sup>  
(<sup>1</sup>名古屋大学医学部保健学科, <sup>2</sup>国立感染症研究所)